

わたしの作品

【日本画】市展賞

春の気配



【岩美町牧谷】
糸谷まさ子さん

日本画の素晴らしさに心を打たれ、習い始めて今年で六年目を迎えるようとしています。寒い冬の空の下、庭に咲いた肥後つばきに春の気配を感じ、植物からの四季の移り変わりの知らせを表したいと手掛けたのが今回の作品です。塗り重ねるたびに質感が出る日本画の魅力を感じながら、これからも描き続けたいと思います。

【工芸】市展賞

群

市展賞を頂き光栄に思っています。私が本格的に染織を始めたのは、平成二年からで倉吉に二年間通い習いました。この作品は、鳥が群れをなして飛んで行く姿を思い浮かべ、経糸は草木染で緯糸は藍で手結紬をずらしながら織ったものです。良い先生や先輩に恵まれてここまで来られたことを感謝しています。

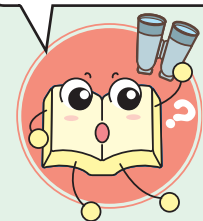


【行徳3丁目】
岩本恵美子さん

市民図書館の
司書が調べます

まちで見つけた「なんでだろう？」

若桜街道・智頭街道
鹿野街道
を、「通り」
と呼ぶのは
「い」と「
道」と「街
ぶ」の「呼
んでらる
？」



藩政時代、城下町である鳥取には主要な道路が集中してありました。若桜街道は「若桜往来」とも呼ばれ、現在の八頭郡若桜町を経て播磨国や但馬国に通じる道でした。また智頭街道は「上方往来」とも呼ばれ、現在の八頭郡智頭町を経て美作国に至る参勤交代の要路でした。さらに鹿野街道は「伯耆中道」とも呼ばれ、吉岡・鹿野を経て現在の気高郡青谷町で伯耆街道（「米子往来」とも）につながる山間の道でした。いずれも、多くの人々が往き来し、物資の輸送や文化の交流に重要な役



現在の若桜街道



明治の終り頃の若桜街道

割を果たしてきた道路です。「街道」というのはかつての呼び名の名残で、少し古めかしい印象を受けますが、その呼称自体から私たちの祖先の歴史や物語がよみがえってくるような、貴重な文化遺産といえるのではないのでしょうか。

鳥取県教育委員会がまとめた『鳥取県歴史の道調査報告

書』（全7集、平成元年〜平成2年）には、若桜街道や智頭街道など、県内の主要な旧道の概観や変遷が綴られています。常夜灯や道標など、現存する目標物の写真入りで当時の道筋も再現されていますから、この本を案内にルートをとれば、時を超えたタイムトラベルが楽しめるかも知れませんね。